

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	福井県
取組の名称	① 第13回「全国高校生食育王選手権大会」の開催 ② 「ふくい味の週間」および「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」の開催
実施時期	① 令和元年11月17日（日） ② 令和元年11月10日（日）～11月17日（日）
取組内容	<p>① 第13回「全国高校生食育王選手権大会」の開催</p> <p>福井県では近い将来、自立した食生活を送ることになる高校生を対象に、毎年「高校生食育王選手権大会」を開催しており、今年で13回目になります。</p> <p>食に関する知識や調理技術などについて競うことを通じて、食に対する関心を向上させると共に、食を選択する力を身に付け、望ましい食習慣の形成を図り、食育活動の実践を促進することを目的としています</p> <p>予選に参加した、全国の300チームの中から勝ち抜いた10チームの高校生たちが福井県産業会館に集結し、食に関する知識、調理技術、実践している食育活動などについて競いました。</p> <p>今年は、三重県相可高等学校のチーム「相可」が優勝し食育王に選ばれました。また、福井県奥越明成高校のチームが3位となりました。</p> <p>② 「ふくい味の週間」および「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」の開催</p> <p>福井県では、福井の美味しい食材（越前がに、里芋、そば等）が豊富な11月の1週間（今年は11月10日～17日）を「ふくい味の週間」と定め、ふくいの食を「学び」「味わい」「楽しむ」様々な食の催しを各市町や関係機関、直売所、スーパー等と連携し実施しました。</p> <p>また、その最後の週末である11月17日に、福井県産業会館にて開催しました。県民が福井の食について楽しく学べる、味わえるよう、食育ゲームやクイズ、旬の農林水産物やスイーツ、加工品の直売、福井の新ブランド米「いちほまれ」の試食、福井のそばや郷土料理等が味わえるコーナーを設けたところ、多くの方の来場がありました。</p>



食育王選手権の競技の様子



多くの来場者でにぎわった「ふくい農林水産 まるごとフェスタ」会場の様子

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	①福井市 ②福井市、県内嶺北9市町 ③福井市、福井市環境推進会議、ファームビレッジさんさん ④福井県、福井市、西武福井店、福井県民生活協同組合、啓新高等学校 ⑤～⑧福井市
取組の名称	①～③イベント・講座等での地産地消の推進（周知・啓発） ④食品ロス削減の推進（周知・啓発）⑤～⑧学校給食における食育の推進
実施時期	①9/16(月・祝) 11/10(日)、②9/7(土) 9/8(日)、③11/17(日) ④9月～10月 ⑤～⑧4月～12月
取組内容	<p>①中山間食材をメインとした薬膳講座を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講座内で、中山間食材の効能等の説明及び料理の実食 ●講座後、直売所にて食材を販売、レストランにてメニューを提供 <p>②越前ふくいマルシェを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産者等による農林水産物・加工品の販売、魚のつかみ取り、模擬田植等 <p>③「環境にやさしい地産地消」をテーマに環境学習講座を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地産地消の説明・パネル展示及び食品ロスについての説明、実食 <p>④様々な関係機関が協働した食品ロス削減の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●啓発チラシ、ハロウィンパレード、食べきりレシピの募集&見切り品購入の促進 ●食べきりレシピ&食材使い切りの知恵を募集し、西武福井店に展示 <p>【学校給食について】</p> <p>⑤食育についての周知啓発</p> <p>「小中学校の給食だより」において、朝ごはんや共食の重要性、規則正しい食習慣などを周知し、食に関するクイズ等も掲載することで、食育の推進を図っています。また、給食時間の校内放送を活用し、旬の食材や「食育の祖」石塚左玄の訓えの一つである「一物全体食」について説明をしています。</p> <p>⑥朝倉ゆめまるランチ事業</p> <p>子ども達に福井の食文化に対する理解を深めてもらい、「ふるさと福井」を愛する心を育てることを目的として、子ども達に人気のある献立に地場産食材を多く取り入れました。</p> <p>⑦東京オリンピック・パラリンピック応援給食</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、世界各国の代表的な料理などを学校給食に取り入れることにより、子ども達はその国の特徴や食文化などを学び、親しみを持ってもらうことを目的として実施しています。</p> <p>⑧Facebookによる情報発信</p> <p>学校給食や食育についての情報を発信することで、保護者をはじめとする多くの人が、学校給食や食育への理解・関心を深め、家庭での学校給食に関する対話を通じて子ども達への食育につなげることを目的として行っています。</p>



【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	敦賀市
取組市町村名 取組団体・企業名	敦賀市立東浦小学校、東浦みかん生産者
取組の名称	東浦みかんプロジェクト
実施時期	平成31年4月～令和2年3月
取組内容	<p>東浦小学校校区の東浦地区活性化を目指して4年前から取り組んでいる。地域の人たちと協力しながら、みかんの栽培から収穫、PRまで年間を通して活動を行う。</p>      

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	小浜市
取組の名称	体にやさしいおやつを作ろう！
実施時期	8月11日・9月7日
取組内容	<p>おやつは、食事と食事の間に摂る「間食」として大切なものです。 8月11日・9月7日に「体にやさしいおやつを作ろう！」を開催しました。 幼児向けのおやつ作りを行い、何を、どれくらい、どのようなタイミングで摂るのがよいのか、学習していただきました。</p> <div style="text-align: center;">   </div>

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	大野市 越前おおの食守フェスタ実行委員会
取組の名称	第12回越前おおの ^{しょくもり} 食守フェスタ (^{ゆい} 結の故郷 健康・食守フェスタ 2019)
実施時期	令和元年9月23日(月・祝)
取組内容	<p>「越前おおの食育推進計画」(平成29年3月改訂)の基本理念である「食守(しょくもり)」を市民に周知するとともに、「食」を守る担い手の活動を促進し、「結の故郷 越前おおの」における「食育」活動の基礎づくりを目的に、市内で食に関する活動をおこなっている団体の活動紹介するパネル展示と、試食等の体験を提供しました。</p> <p>また、15団体の出展協力により、食育活動を発表する展示コーナーや体験コーナー、パネル展示を活用したクイズラリーを実施し、クイズ参加者を対象としたガラガラ抽選会を開催、調味料セットやにんじんジャム、まいたけ製品等の特産品を加工した景品で特産品の魅力をPRし、カトラリーやエプロン等の景品で食に関わる機会の創出を図りました。</p> <p>今回は他課実施の体力測定会、健康フェアとの合同開催だったので、ご来場いただいた方々には食守のを知り、食育について体づくりの面からも意識していただくことができました。</p>
	 

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>福井県</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>勝山市 ①北谷クラブ ② 勝山市ふるさと活性化協議会</p>
<p>取組の名称</p>	<p>①「田舎暮らし体験ツアー」 ② ふるさと塾（簡単イタリア風？料理教室）</p>
<p>取組内容</p>	<p>①田舎暮らし体験ツアー ～北谷クラブ～ 年間を通じて、「田植え、まき割り、稲刈り、報恩講料理体験」ツアーを企画し、農作業や伝統料理などの田舎暮らしを市内外の方に体験していただくことを目的に北谷クラブが田舎暮らし体験ツアー開催しています。各地から木根橋区を愛する方々が毎年体験に来ており、都市住民と地域住民との交流を通して、地域の活性化にも繋がる取り組みとなっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>③簡単！イタリア風料理教室～勝山市ふるさと活性化協議会～ 勝山市で特産化を目指すために勝山市農業公社が中心となって栽培を行っている栄養価の高い「行者にんにく」を使った料理教室が、勝山市ふるさと活性化協議会主催で開催されました。「行者にんにく」は幻の山菜と言われ市民にあまりなじみのない山菜で、料理教室では、「ペペロンチーノ」「白身魚のソテー」等のメニューを学びました。 勝山市では、今後、行者にんにくを新たな特産としてPRしていく予定です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	鯖江市
取組の名称	①～③小学校と連携した食育事業、④食の安全安心親子体験講座の開催
実施時期	下記のとおり
取組内容	<p>①【おやつ授業（2年生）】…H28～継続事業（4年目）</p>  <p>鯖江市内の農家が育てた枝豆を使って、プロの菓子職人の指導のもと、子どもたちに身近なおやつを作り、旬の地元食材のおいしさに触れる機会をつくりました。</p> <p>期 間 9/12～9/13 対 象 鳥羽小学校 2年生 合計76名（3クラス） 内 容 鯖江産枝豆を使用した「ずんだもち作り」体験で、すり鉢やすりこぎを使用した枝豆の潰し方や、白玉だんごの作り方をプロの菓子職人グループが指導してくれました。</p> <p>②【うま味の授業（5年生）】…H28～継続事業（4年目 全校実施）</p>  <p>家庭科のある5年生を対象に、調理学習枠の一つに出向き、日本人として和食への理解を深め、「うま味」を活用した食文化を伝えることを目的に出前講座を行いました。味噌汁をつくる授業と連携し、和食のお話や出汁（こんぶ、かつおぶし、煮干、あわせ出汁）の違いなどを学び、一汁三菜を基本とする日本人の食事スタイルは栄養バランスが良いことも伝え、家庭での食生活につなげました。</p> <p>期 間 9/19～11/26 対 象 市内全小学校（12校）5年生 合計711名 内 容 プロの和食料理人から和食の良さや出汁の違い、特徴を学び、児童が出汁の違い5種類の味噌汁の飲み比べ体験を行いました。</p> <p>③【「地場産学校給食の日」（11/22）の開催】…H20～継続事業（23回目）</p>  <p>児童・生徒・園児に顔が見える地元生産者の野菜は新鮮で味がよく、安全で安心して食べることができることを実感し、郷土の農産物への関心や給食に係る人たちへの感謝の気持ちを高めることを目的に「地場産学校給食の日」を開催しました。</p> <p>日 時 11/22 参加者 鯖江市内公立小・中学校・幼稚園・保育所 約7,300人</p> <p>④【食の安全安心 親子体験講座開催】</p>  <p>一般消費者に向けて、食品表示について啓発するため、夏休み期間を利用して、親子体験講座を開催しました。「不思議なジャムのひみつを探ろう！」と題し、食品表示の見方や材料について学び、実際にジャムを作り、その食品表示ラベルも自分たちで作成するという体験を行いました。</p> <p>日 時 8/1 参加者 親子54名 会 場 アイアイ鯖江健康福祉センター</p>

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	あわら市
取組の名称	①簡単に優しい御節料理教室 伝承料理の普及 ②こども園での取組み ③市内小中学校での取組み
実施時期	①令和元年12月7日②こども園での取組み③学校での取組み
取組内容	<p>【簡単に優しい御節料理教室】の実施（担当：健康長寿課）</p> <p>昨年が大変好評であったため、今年も引き続き食育スタジオにて市内在住者を対象に、食生活改善推進員を講師とし、御節料理教室を実施しました。5歳～80歳までの男女20名が参加してくださいました。「市販のものと味が全然ちがって美味しい」「濃すぎず、甘すぎず丁度いい」などの感想がありました。幅広い年齢の方に健康づくり、伝承料理に関心をもっていただけたと思います。</p>   <p>【こども園での食育推進】（担当：子育て支援課）</p> <p>※市内の各こども園にて、食育に関わる様々な取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦原こども園…「げんきッズ」を活用した催し（クイズ等） 「給食まつり」食べきり運動（踊り・紙芝居等） ・金津東こども園…「焼き芋会」 ・本荘こども園…「ランチルームでの掲示」（箸の持ち方、魚について） 「自家栽培野菜を使用したクッキング」 ・敬愛こども園…「和風だしについての学習」 「自家栽培野菜を使用したクッキング」 ・妙安寺こども園…「和風だしを使ったクッキング」   <p>【市内小学校での取組み】（担当：教育総務課）</p> <p>学校給食センターでは栄養教諭が中心となり市内各小学校に出向き食育事業を実施しました。全校生徒を対象とした事業や、担任の協力を得てクラスごとに食育事業を行うなど積極的に取り組みました。給食の時間には「越前柿」「とみ金豚」の生産の様子を給食委員会が中心となり、プレゼンテーションソフトを使い、ビデオ放送で紹介し、提供された柿がJA花咲ふくいの柿専門部の方々のご厚意によるものだと知ると、いつも以上に感謝の気持ちを持って食べていました。北潟小学校では毎年恒例となった祖父母学級での餅つき会、芦原小学校では食生活改善推進委員会の協力を得て「朝ごはん応援プロジェクト」の実施、中学校では地元特産品や郷土料理の調査などをおこないました。</p>     

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	福井県
政令指定都市名	
取組市町村名	越前市
取組団体・企業名	
取組の名称	食育・地産地消の推進
実施時期	4月～12月
取組内容	<p><越前市まるごと食の感謝祭> 11月16日・17日</p> <p>地場野菜やそれらを使用した加工品の販売やジビエ料理のふるまいを行うなど、地元の食をPRし、食育推進団体や関係機関が各々の食育活動について発表し、食に関する情報提供を行いました。2日間で2万3千人の来場者がありました。また、市内の食育団体5団体や仁愛大学等が参加し、地場産の食材を使った料理を100円グルメとして実施し、食育推進団体をPRすると共に、地元の食材のPRができました。</p> <p><ごはん塾の実施> 11月16日・17日</p> <p>市内の5歳児を対象に、地元農家さん一緒に地元の無農薬米を使用して、薪割りからかまど炊きまでの一連の作業を体験してもらいました。また、農村の女性グループによる地元野菜をふんだんに使ったお味噌汁のふるまい、地元大学生には食をテーマに紙芝居を実施してもらいました。</p> <p><たんぼファンクラブの実施></p> <p>参加者は一年中同じたんぼで稲作体験をし、最終日には収穫したコウノトリ呼び戻す農法米を持ち帰れます。幅広い年齢の方が参加され、生産者と消費者の交流の場になっています。参加者は全員で100名程度です。</p> <p><越前市記念ランチ・コウ(幸)の御膳></p> <p>市の誕生日である10月に市の特産品である食用菊を菊花汁に、緑しき部きゅうりをあっさり漬けにし、「越前市記念ランチ・コウ(幸)の御膳」として小中学校で提供しました。</p> <p><食に関する指導の実施></p> <p>石塚左玄に学ぶ食育教材「ふくいこども食育チャレンジ」を活用し、食に関する意識を高め、正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるよう年間計画に基づき家庭や地域と連携した食育を推進しています。</p> <p><各地区にて健康食ランチバイキングを開催> 8地区で開催</p> <p>テーマは「野菜たっぷり・時短！簡単！うちごはん！～減塩で健康長寿～」、地域の小学生からシニアまで合計約220人に参加いただきました。食事バランスガイドを用いて健康のための適正な食事量やバランス、減塩について学習した後、自分で選択してもらうバイキング形式で食事を楽しみました。</p>

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	坂井市
取組の名称	坂井市食育市民ネットワーク全体交流会
実施時期	令和元年11月16日(土)
取組内容	<p>市内の食育関係 171 団体が加入している坂井市食育市民ネットワークの全体交流会を開催しました。</p> <p>1. 場 所 いきいきプラザ霞の郷 2. 参加者 71名 3. 内 容 「地域の共助力を高め災害時の食に備える」</p> <p>交流会では「災害時の食に備える」をテーマに、各団体で行っている災害時の食対策の発表や、他職種間で情報交換を行いました。会員からは「各団体と一緒に災害時について研修することは、いざというときに役立つ。学んだことを家や職場に知らせていきたい」との声が聞かれました。</p> <p>【講演】 「大規模災害時の栄養・食支援」 公益社団法人 福井県栄養士会 「坂井市の備蓄について」 坂井市安全対策課</p> <p>【発表】 「災害時の炊き出し支援について」 坂井市赤十字奉仕団 「福井豪雪時の食事と今後の取り組み」 社会福祉法人 長寿幸元会 長寿園</p> <p>【グループワーク】</p>
	  

②食育月間以外の月の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>福井県</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>永平寺町</p>
<p>取組の名称</p>	<p>① ふくいので場産物を味わおう(セイコガニ・サクラマス)・・・11月 ② 学校で採れた野菜を食べよう・・・7～12月 ③ 育てた野菜の活用・・・12月</p>
<p>実施時期</p>	<p>上記のとおり</p>
<p>取組内容</p>	<p>① ふくいので場産物を味わおう(セイコガニ・サクラマス)・・・永平寺中学校 ふくいの特産物であるセイコガニや、永平寺町とも関係の深いサクラマスの食べ方や味をとおして、魚食への関心を高め、ふるさと福井への愛着心を育みました。 また、給食委員会の生徒がサクラマスの生態や永平寺町の取り組みについて調べ、各教室で紹介を行いました。その後のアンケートでは「いろいろな人の手によって大切に守られていたことを知り、何も知らずに食べるより、何倍も美味しく味わって食べられた」と、永平寺町が保全活動に取り組んでいるサクラマスへの親しみ、関心が高まりました。</p>
	 
<p>②学校で採れた野菜を食べよう・・・志比北小学校 学校農園を活用し、各学年で様々な野菜を育て、収穫した野菜を給食に活用する取り組みを行いました。自分たちが育てた野菜が給食に入っていることや、その野菜をみんなが食べてくれるのがうれしいと意見がありました。また、大豆を打ち豆にして地域の人に配る取り組みも行いました。</p>	<p>③育てた野菜の活用・・・上志比小学校 上志比小学校2年生が生活科の学習で育てた「大根」を給食で使用しました。新鮮な大根を「菜飯」「みそ汁」にしました。給食時には、給食委員から給食について紹介し、その後2年生の児童が大根について説明しました。</p>
	<p>【献立】 菜飯 牛乳 とんてき もやしの甘酢和え 大根のみそ汁</p>  <p>収穫した大根</p>

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	南越前町
取組の名称	南条学校給食週間の取組
実施時期	令和元年12月
取組内容	<p>南条小学校では、12月9日～13日に南条学校給食週間を実施しました。</p> <p>前週の12月4日には、給食週間に向けて、食べ物や給食の仕事に携わる人への感謝の気持ちを高めるため、給食集会を行いました。集会では給食委員が、給食の歴史についてクイズを交えて紹介したり、調理員さんへのインタビューから考えた正しい後片付けの仕方など、感謝の気持ちを表すための方法について紹介したりしました。</p> <p>給食週間中は、ふるさと給食やリクエスト給食などの特別献立を実施し、お昼の放送で紹介しました。給食委員会で後始末調べを実施することで、全校で感謝の気持ちを込めた後片付けに取り組みました。また給食委員会では、調理員さんと用務員さんに感謝のメッセージを書いたデコレーションティッシュ作りも行いました。</p>
	 

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	越前町
取組の名称	お魚体験の実施
実施時期	令和元年9月26日(木)～令和元年10月29日(火)
取組内容	<p>管内の保育園児を対象に、毎年秋にお魚体験を行っています。越前町漁協女性部の方が講師となり、各保育所・園に出向いて越前ガレイ（アカガレイ）やイカの一晩干しの作り方を子どもたちに教えます。今年度は7つの保育所・園で実施し、延べ149人の園児が干物作りに挑戦しました。</p> <p>「食べるということは命をいただくということ」を子どもたちに伝えるため、魚の内臓を取り出す際には心臓がどれかを子どもたちに見せ、食べ物を粗末にせず、好き嫌いなくなんでも食べられるようになるというねらいがあります。</p> <p>このお魚体験が行われる秋は底引き網漁が盛んな時期で、多種多様な魚種が網に係るため、漁師の方々に魚を提供していただき、子どもたちが自由に見て触れることのできる体験も並行して行っています。</p> <p>体験後、魚の苦手だった子が喜んで食べるようになったり、魚の種類に興味を持ち、図鑑を見たり名前を覚えようとする姿が見られるなど、子どもたちに変化がみられるようになりました。</p>
	 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	美浜町
取組の名称	小学校2年生食育体験授業 地場産給食
実施時期	令和元年5月～12月
取組内容	<p>【食育体験授業】</p> <p>野菜の働きや必要性を伝え、野菜に興味を持たせることで児童の野菜摂取量の増加に繋げ、同時に親世代の野菜摂取量の増加を図ることを目的に町内小学校2年生と保護者を対象に「食育体験授業」を行い、野菜と町内の特産品である「へしこ」を使用したピザの調理実習と栄養教諭による野菜についての講義を行いました。児童からは「簡単で美味しかったのでまた作りたい」「赤黄緑の食品をバランスよく食べようと思う」「家族全員で食べたい」「朝ごはんにも野菜を食べようと思う」等の感想があり、保護者からは「野菜の大切さが子供に伝わる良い企画だった」「苦手な野菜も食べていて驚いた」「親子で調理することがあまりないのでいい機会になった」等の感想がありました。</p>
   	<p>【地場産学校給食】</p> <p>「ふくいサーモンと秋の味覚を味わおう」をテーマに、町内の小学校3校と中学校1校に地場産給食を提供しました。主菜はふくいサーモンの竜田揚げにしました。副菜には、さつまいも（とみつ金時）、きゅうり、生わかめ、たけのこ、にんじん、まいたけ、ねぎを使用し、主食は美浜町産コシヒカリを使用しました。児童生徒には、和食の良いところや地場産物のこと、旬の食材のことをパワーポイントで指導しました。児童生徒からは「福井県には地場産物の食べ物がいっぱいあることを知ることができて良かった。」「魚はあまり好きではないけれど、ふくいサーモンはとてもおいしかった。」「これから家でも一汁三菜を心がけたい。」等の感想がありました。</p>
	

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	高浜町
取組の名称	さといも掘り
実施時期	令和元年11月14日
取組内容	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちに、生産者の方から直接お話を聞くことで、自分が住む地域（青郷地区）で「さといも」が栽培されていることを知ってもらいます。 ・自分たちの手で収穫し、付着した土を洗い、ひげ根を取り除くまでの作業を行い、食べられるようになるまでの行程を学んでもらい、地元で野菜等を生産してくれる方への感謝の念をもってもらいます。 <p>【実施日】 11月14日</p> <p>【参加者】 青郷小学校2年生 16名 小学校教諭 2名 給食センター 2名 生産者の方 1名 高浜町産業振興課 3名</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さといもの掘り方を指導してもらおう。 ・二人一組になり、さといもを掘る ・収穫した さといもを洗う作業（後日給食にて使用） ・生産者の方にお礼 ・全員で約50kgを収穫



【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	若狭町
取組市町村名 取組団体・企業名	若狭町
取組の名称	ごはん塾・食育研修会の開催
実施時期	令和元年11月2日(土)
取組内容	<p>11月2日(土)、若狭町内の親子約30人を対象に、釜戸を使った炊飯体験と講話を通して、ごはん食の大切さを伝える「ごはん塾」を、かみなか農楽舎にて開催しました。</p> <p>食育や地産地消推進活動や有機農業の研究等で知られる保田茂神戸大名誉教授による講話では、朝にごはんを食べることの大切さを参加児童とその保護者らに説明しました。特に、最近ではあまりかまない児童が多く、歯にも影響し脳の発達にまで影響していること、また、唾液を出していないことで風邪をひきやすくもしているということを学びました。</p> <p>炊飯体験では、保田氏の指導のもと、子どもたち自らがお米を洗い、薪割りも行い、自分で割った薪を釜戸に入れて火を付け、ごはんを炊きあげました。ごはんは30分ほどで炊き上がり、蓋を空けた瞬間のごはんの香り(嗅覚)を楽しみ、その後、参加した親子で、町特産の「福井梅」や「山内かぶら」の漬物といっしょに炊き立ての釜戸ごはんを試食しました(味覚)。</p> <p>子どもたちは次々とおかわりをし、炊きたてごはんの本来のおいしさを実感していました。</p> <p>午後からは、食育研修会「食べ物と子どものいのち」をテーマにごはん塾参加保護者や若狭町食育連携会議メンバー等に対し、保田先生から講義を受けました。</p>
  	